

令和4年度第2回愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会

Web会議 議事録

令和4年12月13日(火) 13:30~15:10

出席者 (40名)	NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会	松本	愛媛県立中央病院	季羽、渋谷、石山、小笠原、武田、井上、大矢根、外山、片岡
	愛媛県庁健康増進課	三宅 (担当係長)	松山赤十字病院	池田、高須賀
	愛媛大学医学部附属病院	塩見、古川	市立宇和島病院	黒田、川中、沼田
	済生会今治病院	松岡、池田、斉藤	四国中央病院	古川、高木
	住友別子病院	和田、高橋、山地、藤田	十全総合病院	白石
	松山市民病院	三谷	済生会松山病院	平岡、藤原
	HITO 病院	楠瀬、守屋	四国がんセンター	灘野 (部会長) 羽藤 (副部会長) 福島、大西
	済生会西条病院	大谷	市立八幡浜総合病院	高橋
	愛媛労災病院	田中		
事務局	四国がんセンター	武智 (事務担当) ・ 欠 安宅 (事務担当)		

I. 報告・協議事項

1. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

(第19回 11/24 ハイブリッド開催)

(四国がんセンター)

○新整備指針におけるがん相談支援センターの役割と今後の取り組みの方向性について

- ・「更なるがん医療提供体制の充実」「特性に応じた診療提供体制の整備」「都道府県協議会の機能強化」などを中心に見直しがあった。指針の見直しにより以前より病院の協力を得やすくなった。
- ・見直しのポイント、内容、その背景となっている課題および体制や人材配置については、資料7~21ページ参照。
- ・がん相談支援センターに関する要件として、「病院を挙げて全人的な相談支援」「オンライン相談など必要に応じてICTを活用」「コミュニケーションに配慮が必要な者や日本語を母国語としない患者への配慮」などが追加された。
- ・「初診から治療開始までの間のがん相談支援センターを訪問できる体制の整備が望ましい」とされ、これについては次期改定で必須要件となる。

- ・小児がん拠点病院の整備指針見直しについては、資料 18 ページ参照。成人がんと異なり長期フォローアップ相談支援について、「適切な連携体制の整備・検討」「がん・生殖医療を含む小児・AYA 世代の相談支援の強化」が望まれる。
- ・がんゲノム中核拠点病院の整備指針見直しについては、資料 20 ページ参照。
- ・がん相談支援センター関連からみた主な変更点として、「相談員の研修等による定期的な知識の更新」が追加された。
- ・提案書がどのように整備指針に反映されたかについては、資料 27～30 ページの新旧対照表内の赤字部分（変更箇所）参照。
- ・PDCA チェックリストについては、新指針の発出を受けて、今年 2 月の部会提案書の参考資料 1 を参照し行動指針部分の記載を網羅するものとなっている。新評価項目の追加、三段階評価で統一など、大幅な改定作業中（資料 36～39 ページ）。

がん相談支援センターの活動の見える化を目的とした PDCA チェックリストであるため、重要な項目に絞って、全国で統一した項目の評価測定をしてゆくこともゆくゆく見据えていきたい。チェックリストの中で特に重要と思う項目等もぜひ県内で話し合っただけアンケートに回答してほしい。とのことであったため、県のチェックリスト WG から意見をもらい回答したい。

○第 19 回 情報提供・相談支援部会 事前アンケート結果の共有

- ・現状把握と新整備指針を踏まえ今後取り組むべき課題を明確にするために、都道府県拠点および行政からの回答を集計。（資料 46～51 ページ）
- ・半数以上の施設が、都道府県協議会の取り組みの中で、「小児がん長期フォローアップ体制」「AYA 世代のがんの支援体制」「ピアサポーター育成・活用」の 3 項目について、都道府県協議会が「取り組めていない」と回答している。
- ・富山県では、県として AYA 部会を立ち上げ、県・行政とともに活動を始めたと報告があった。

○小児がん拠点病院とがん診療連携拠点病院との連携について（資料 53～83 ページ）

- ・小児がん拠点病院は、「AYA 世代への対応の強化」に重点を置き、AYA 世代がん患者について、がん診療連携拠点病院等への紹介も含めた適切な医療を提供できる体制を整備していく。
- ・小児がんの生存率は 8 割。早期の長期フォローアップの体制作りが望まれる。

○岐阜県がん診療連携拠点病院 患者相談専門部会 取り組み報告

- ・岐阜県では、「がんと診断されて間もない人への情報提供資材」をきっかけに、病院を挙げてがん相談支援センターの周知に取り組んでいる。取り組み内容については、資料 85～107 ページ参照。

○岡山大学病院 総合患者支援センター 取り組み報告

- ・既存の資材と新たな冊子を「情報セット」として組み患者へ配布。広報誌掲載の QR コードから閲覧可能。取り組み内容については、資料 108～128 ページ参照。

○相談員研修・国立がん研究センター認定事業について（資料 131～148 ページ）。

- ・「相談支援に携わる者は・定期的に知識の更新に努めること」が追加されたことを受け、様々な研修（E-learning）を検討中。新形式（2023年度～）では、継続研修は廃止（基礎研修のみ）。
- ・来年度も基礎研修（3）ファシリテーターの推薦形式を考えている。2月～3月頃に依頼予定。
→年明けに当部会相談員研修WGへ相談予定
- ・QA研修、「認定がん専門相談員」「認定がん相談支援センター」認定事業にも参加していただきたい。

○施設別がん登録件数検索システムについて（資料154～155ページ）。

○主催者向けZOOM操作説明会について、7月27日（水）および11月16日（水）にオンラインにて開催。
（資料156ページ）。

○第20回情報提供・相談支援部会の日時：2023年5月26日（金）13：00～16：00（オンライン開催）
予定。

2. 「若年がん患者在宅療養支援事業」「ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業」、「小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業」等の県内動向について

※今治市「ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業」変更点について

三宅宏和（愛媛県健康増進課）

○愛媛県の助成事業の報告

<若年がん患者在宅療養支援事業>

- ・今治市と上島町が追加
- ・利用実績は昨年より減少。

<小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業>

- ・先月1件（2回分）の治療の申請があり、支払い手続き中。
- ・引き続き来年度も実施予定。

<今治市のウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業>

- ・これまでは、がん患者本人が購入した対象品のみ助成対象だったが、同一世帯の方が購入した対象品も助成対象となった。

3. 都道府県がん診療連携拠点病院がん相談支援センター四国ブロック会

○申し合わせ事項について

- ・幹事会で部会長より報告し、承認された。近日、当部会のHPに掲載予定。

○地域相談支援フォーラム、情報から始まるがん相談支援研修、QA研修開催計画について

・今後、フォーラムについては四国4県で4年に1回開催予定。2023年・2024年度までは、情報支援研修を四国で持ち回り、その後はQA研修と情報支援研修を交互に年に1回開催予定

- ・来年度の情報支援研修は徳島県と香川県、2024年度は愛媛県で開催する。ファシリテーター等、協力いただきたい。
- ・2025年度以降、四国4県でフォーラムや研修会を持ち回りで開催していく。

○「情報支援研修」研修講師派遣について

(高知県主催)【令和4年8月21日(日)13時~17時15分】愛媛参加報告

「情報から始まるがん相談支援」研修~地域展開版~オンライン開催

開催方法: オンライン (Zoom)

募集人数: 30名(愛媛から9名参加)ファシリテーターとして2名(済生会今治病院松岡氏、市立宇和島病院川中氏)協力

次年度開催は徳島県香川県であるが1回開催の可能性あり、情報が入り次第お知らせする。

○四国ブロック会次回開催予定

- ・来年の3月頃予定のため、決定事項等があればお知らせする。

(四国がんセンター) (済生会今治病院)

4. 「がんと診断されて間もない人向け情報」冊子について

○拠点病院の指定要件

- ・外来初診時に主治医等から、がん患者及びその家族に、相談支援センターについて説明する等、診断初期の段階から相談支援センターの周知が図られる体制を整備すること。
- ・地域の医療機関に対し、相談支援センターに関する広報を行うこと
- ・その資材として作成されているもの。

- ・下記の動画を参考にして活用していただきたい。

「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」冊子紹介動画

(2022春) 医師・医療関係者向け紹介動画(公開)(new! 2022.11) 患者さん・ご家族の方向け紹介動画(公開)

●医療関係者向けの一般公開ページ がん対策情報≫診療に関する情報

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/index.html

●一般向けページ 診断と治療

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/index.html

5. 各ワーキングからの報告

1) 相談員研修 WG

福島美幸(四国がんセンター)

- ・地域相談支援フォーラム in 四国愛媛開催について

【令和4年10月22日(土)13時~17時10分】

- ・50名募集に60名参加。ハローワーク、産業保健総合支援センター、行政職員にも参加いただいた。
- ・オンライン開催で遠方でも参加できるメリットはあるが、集合型のニーズもあるため、内容に応じて開催形式を選択または併用していく。

- ・アンケート結果によると、「AYA 世代の支援」「ゲノム医療について」「妊孕性」「アピアランスケア」について今後取り上げてほしいという意見が多くあった。
- ・来年度、フォーラムはないが、愛媛県内で最低でも1回は研修会開催予定。

2) 広報活動 WG

大西明子（四国がんセンター）

○がんサポートブックえひめ第4版 活用状況アンケート結果

- ・新たな指針においてもがん相談支援の広報が望まれている。誰に、どのタイミングで、どんな方法で渡すのかは各施設で検討。他施設の工夫を参考に、各施設で取り組んでいただきたい。
- ・愛媛大学医学部附属病院は多くの情報が渡るタイミングでもあるため患者に渡すパンフレットを2冊に絞っている。
- ・四国がんセンターではブックとがんサポートサイトリーフレット、相談支援センターリーフレット、がんと診断されて間もない人向け冊子の4点セットを医師から渡すようにしている。医師の渡し忘れを防ぐため、ドクターズアシスタントや各科の看護師から声かけしてもらう等、協力してやっている。
- ・次年度がんサポートブックの増刷計画は現時点ではない。ブックが不足した場合、各施設で印刷していただきそれでも対応が難しい場合は四国がんセンターへ連絡。

3) チェックリスト WG

松岡誠子（済生会今治病院）

○今年度チェックリストについてスケジュール

- ・11月末まで回答回収済み。初めてのグーグルフォームでの回答だったが、回答しやすいと好評だったため、今後も継続予定。
- ・今年度は重点項目について前年度と比較して、その結果を返していく。
- ・国がん新チェックリスト（案）アンケート回答は1月中旬頃までを予定されているが、アンケートはまだ案内されていない。
- ・愛媛県の皆さんの意見を参考にして回答したい。

4) がん患者サロンについて

松本陽子（NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会）

○ピアサポーター派遣について

- ・現在、県内5ヶ所の施設へ、ピアサポーターを派遣。
- ・松山赤十字病院はオンライン開催、四国がんセンター・愛媛大学医学部附属病院・県立中央病院・市立宇和島病院は集合対面開催
- ・コロナの影響で参加者減少しているがいつでも話せる場があることが大事だと思っているので、続けていきたい。今後も協力いただきたい。

○ピアサポーター養成研修開催報告 【令和4年9月】

- ・「地域連携の推進体制」として「都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組むこと」、がん相談支援センターで確保する

体制の一つとして、※「がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けること。その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めること。なお、オンライン環境でも開催できることが望ましい」

- ・10/30に第1回研修開催。6名全員が研修修了。
- ・今年度中に活動開始するが、フルタイムで働いているサポーターがどのように日中のサロンの活動を行っていくかが課題である。要検討。
- ・上記※については、次期改定では必須要件となると考えられるため、一緒に取り組んでいきたい。
- ・今治市や新居浜市は地域の患者団体と連携が取れている。おれんじの会は後方支援という形で関わっていただくと考えている。

○サロン担当者 WG について

(四国がんセンター)

- ・おれんじの会 松本氏より。整備指針に向けて年に1~2回のミーティング開催の提案があった。
 - ・愛媛大学医学部附属病院の塩見氏より、サロンの媒体（対面、オンライン等）、共同開催等運営方法を話し合っていきたいとの意見があった。
 - ・灘野部会長より、専門部会内のWG活動を増やすと負担が増えることもあり、講演を聴くなどではどうかとの提案があった。
- ➡ おれんじの会 松本氏より他県で先駆的なサロン活動をしている団体を招いてオンライン勉強会や情報共有の機会を持つことへの提案があり、今年度中に1度開催する方向となった。

II. その他

1. 【がん診療連携拠点病院等の整備について（令和4年8月1日付健康局長通知 健発 0801 第16号）】から、都道府県協議会での取り組み課題について

○フィードバック体制について

- ・四国がんセンターでは年に1回、病院が患者満足度調査を実施する際に1枚の書面（A4）にて自由記載欄含めて6項目のアンケートを実施（HPの関連情報→がん相談支援センター利用者アンケート2022年度を参照）。
 - ・たちまち実施に向けて検討が必要な施設がほとんどであり、新要件にもあるように今後協議会で共有する必要があるため、早めにフィードバック項目内容をある程度揃えた方が良いとの意見があがった。また、協議会で決めたものを各施設へおろしてもらえるとよいといった意見もあがった。
- ➡早急に検討が必要な施設が多く、新要件で今後協議会での共有が求められていることもあり、広報WGの次年度活動計画がないこともあるため、広報WGで次年度第1回協議会までに準備予定とする

2. 2023年度愛媛県災害時連絡シミュレーション実施について

- ・来年度も開催予定

3. その他（各施設から周知事項）

(済生会今治病院)

- ・緩和ケア病棟を閉鎖予定。今後は一般病棟での受け入れ。

(愛媛県庁健康増進課)

- ・複数施設から県の助成事業について問い合わせあり。今後は県から各施設に向けて情報発信していく。

(灘野専門部会長)

- ・今年度で退官となる。次年度は新部会長となる。

議事録担当：松山赤十字病院（次回は済生会今治病院）